

## 節電対策のための“見える化”開始！

### — 本社 TODA BUILDING と TODA BUILDING 青山における対策を紹介 —

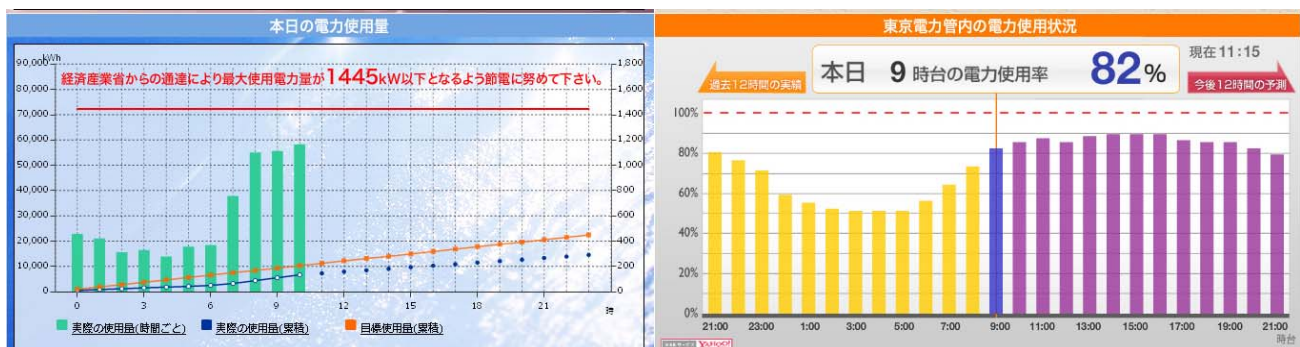
2011年7月1日（金）より9月22日（木）の期間において、東京電力管内および東北電力管内では電力の使用制限が始まりました。一律15%以上の電力削減を義務化するもので、対象となる事業所では猛暑が予想される中、厳しい節電対策の実施を迫られています。

このような中、戸田建設(株)（社長：井上舜三）では、本社 TODABUILDING およびテナントビルである TODABUILDING 青山において節電対策のための“見える化”に取り組んでいます。

戸田建設の本社がある TODABUILDING（東京都中央区）では、2010年4月より導入した CO<sub>2</sub>見える化ビジョン“CO<sub>2</sub>MPAS”による“見える化”、テナント企業各社の協力、および社員による CO<sub>2</sub>削減活動により、2010年度は東京都・環境確保条例の排出目標値比マイナス18%の CO<sub>2</sub>削減を達成しています。特に今年3月の東日本大震災の発生以降は、それまで以上に節電に努めてきました。

そしてこの度、電力使用量の上限を1,445kWとする指定通知を経済産業大臣より受け、さらなる節電意識の向上を図る目的で、本社 TODABUILDING に設置している CO<sub>2</sub>見える化ビジョン“CO<sub>2</sub>MPAS”の表示画面を切り替え、7月1日より「節電対策表示モード」で表示を開始しました。電力使用量の上限値が示された電力使用量表示画面と、東京電力の“電気予報”を並べて表示させたもので、現在のビルのエネルギー消費量と東京電力の電気の需給状況とをリアルタイムに確認することができます。

また、この画面情報は戸田建設のイントラネットにも表示されており、パソコン画面から見ることもできます。緊急時に社員が自らの判断で緊急対応ができるように考慮されています。



画像-1 CO<sub>2</sub>見える化ビジョン CO<sub>2</sub>MPAS 節電対策画面

また、今年3月に竣工した TODABUILDING 青山では、テナントの節電意識を高めるために「エコインフォメーション」を提供し、テナントの自主的な省 CO<sub>2</sub>活動を促すシステムを導入しています。専有部にモニターを設置し、前日比の電力量と使用比率をわかりやすく表示させることができます。積極的に省 CO<sub>2</sub>情報をテナントに発信することで節電を促すことができます。

また、グループ会社の千代田土地建物(株)がデータの収集と分析を行い、今後の排出量を予測するマネジメントも行っています。

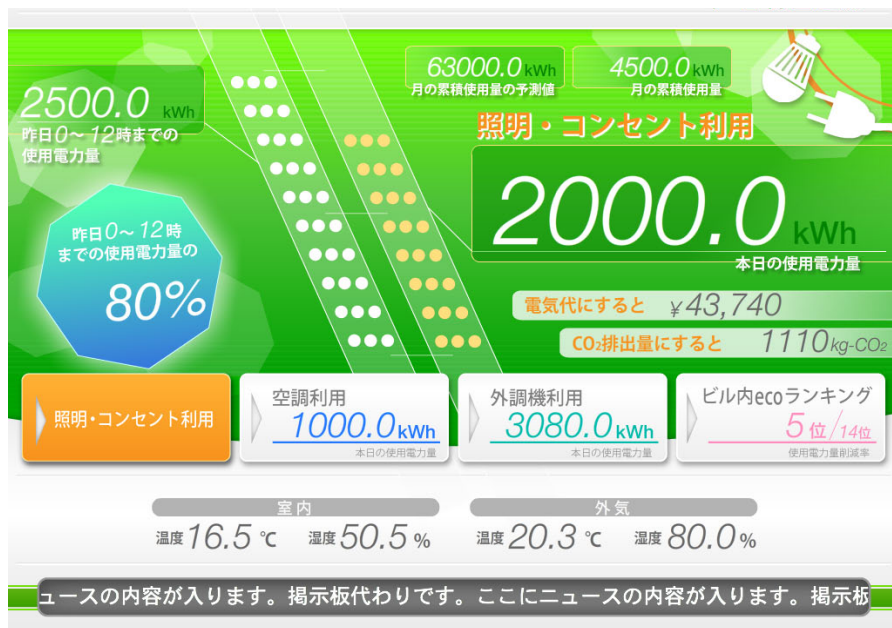


写真-2 「エコまど」(エコインフォメーション)

以上